

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

- | | | |
|--|--------------------|----------------------|
| □集まり、語り合うことから
新しい公共のつむぎあいを！1P | □多世代交流拠点事例集発行 ..2P | □寄稿 理事退任にあたって3P |
| | □会員団体紹介2P | □東日本大震災募金報告3P |
| | □NPO職員リレー2P | □インフォメーション4P |

集まり、語り合うことから新しい公共のつむぎあいを！

代表理事 岡本一美

新年度が始まりました。大震災から1年、少し遅めの桜の景色を、今年のことさら心深く受け止めた方が多かったのではないのでしょうか。がれき処理や原発論議がかまびすしい中、それでも季節は巡ってくることに感謝せずにはおれません。

改正NPO法施行による諸手続が必要です。とくに、理事の代表権について、これまでは定款をもってその代表権を制限する定めがあっても善意の第3者に対抗できないとされていたため、理事全員を「代表権を有する者」として登記してきました。しかし、今回の改正で「代表権の範囲または制限に関する定めがあるときはその定めを登記」となりました。定款に「代表は、この法人を代表し、その業務を総理する」などと定めた法人が多くあります。10月1日までに代表権を有しない理事について「代表権喪失」の登記をしなければなりません。

これまでどおり、理事全員の代表権を維持する場合や正副代表が代表権を持つという場合等は、定款の変更が必要です。各団体とも定期総会を前に理事会で代表権について協議し、必要な手続きをとっていきましょう。他の変更事項もありますので、今後の法人の方向性を確認する機会としていただきたいと思います。ご不明な点は、本法人0562-33-1631または、あいちNPO交流プラザ052-691-8100までご連絡ください。

さて、昨年度「共生型居場所づくり」をテーマとした新しい公共支援事業後、具体的な取り組みが見えてきました。詳細は2面に掲載しましたが、やはり関係者協議の場(ロードマップづくり)は有効です。課題についての学び合い、先進事例見学と分析、地域ビジョンの共有、取り組みアイデアのブレインストーミングなどの過程を同行すると、課題解決の方向性について合意形成が進み、実践の場での連携が始まります。

大事なのは、まず課題。エリア設定と関係者の選定。



23年度新しい公共支援事業で第4回協議の場後にAda-codaのランチを共にしながら、語り合い情報共有した関係者

また誰が協議の場を設置運営するかが問われます。

各市町の市民活動センター、社会福祉協議会ボランティアセンター、各分野のNPO法人、地縁型組織がコーディネーターとなり、課題解決のために地域連携を促し、協働の取り組みが生まれる「協議の場づくり」を推進する支援事業を行っていききたいと思います。

地域福祉サポートちた総会

■日時： 6月1日(金) 14:00～15:00

■場所： 知多市市民活動センター2階

♥交流会♥

15:00～17:00

(参加費300円)

本誌3面に降任理事のあいさつを掲載しました。各団体の代表交代に伴う理事交代もあります。交流会で降任理事が「これまでとこれから」をお話いただけます。ピアノ生演奏とケーキセットで、交流の時間をお楽しみください。



23年度 多世代交流拠点 事例集 発行

平成23年10月11日の事前研修会から始まり、5回の協議を重ねた集大成として【協働ロードマップ『多世代が交流し互いに支えあえるしくみづくり』】・【BEST PRACTICE～先進取組事例集～】が完成した。

協働ロードマップは、子どもを取り巻く社会状況や表出している課題の解決または予防的側面から『共生型居場所』づくりを提案している。協議された具体的取り組み例のすすめ方も掲載し、県内各地域への波及を目指す。【BEST PRACTICE～先進取組事例集～】は、各事例の立ち上げ情報を掲載した。また、18カ所の事例紹介の中には、4月にオープンした“街かどサロン きらり”や、レストラン“こもれび”などは、多世代交流を目的とした介護施設併設型で地域に開放している。



事例毎の立ち上げ情報の掲載等が好評



現在就労継続支援A型を申請中、若者の働く場を提供

事例集完成後の動きとしては、NPO法人菜の花が高齢者向け宅配弁当サービス“キッチンなのはな”を4月2日にオープンさせた。配達時の声かけや安否確認等の安心がセットされている。また、大府市内のサロンに食事を届ける事業予定のNPO法人はっぴいわん大府は、拠点の地域開放に向けて協議段階である。NPO法人SmileyDream(武豊町)は事務所の隣に、子育て中のママを対象とした居場所を4月末にオープンする予定。



NPO法人はっぴいわん大府が、4つ目の拠点“とまり木”のオープンに向けて準備を進めている

この協議を通じて新たに立ち上がる予定の共生型居場所なども含め、今回紹介の事例も一つの通過点である。知多地域での活発な動きを今後も期待し、伴走しながら発信する予定。(江ノ上)

☆会員団体紹介☆

『NPO法人学童保育ざりがにクラブ』

父母の会が任意団体を立ち上げた1979年4月から、33年以上も「ざりがにさん」の愛称で学童保育を中心に活動し、2003年7月の法人化以降、若いスタッフ育成と雇用にも力を入れている。また、東海市まちづくり協働推進事業で「自然と遊びの体験講座」を通じて、青少年健全育成活動をしている。この講座は今年度から、東海市内の全小学校の応募が対象となった。

障がい児支援では、学童保育での日中一時支援、中高生グループ「はばたき」に加え、4月から半田市ひいらぎ養護学校の児童を対象に放課後等デイサービスを始めている。



職員に折り紙をせがむ、遊ぶ、宿題に集中するツワモノと様々

こういった活動が評価され、平成24年度 第43回 愛知県青少年育成県民会議において、青少年育成団体として受賞された。

NPO担当職員リレー

豊明市高齢者福祉課介護保険係 主査 松本小牧氏



市民協働課に在籍した7年間で最も力を入れ、結果、市の協働施策にとっても大きな転機となったのは「豊明まつり」だった。そもそも豊明まつりは約2千万円の市予算をかけた行政主導のまつりだったが、平成20年度に市の財政難により予算ゼロ査定の方針が打ち出され、行政と市民の協働事業として継続の道を模索、4年かかって軌道に乗せた。

市民による企画がマンネリ化したまつりを一新させただけでなく、協働施策の前進にもつながった。中でも「公用車貸付制度」や「備品貸出制度」といった斬新な施策は、市の一大イベントの準備のために労力を提供してくれる市民に、行政財産を貸し出してもいいのではありませんか！という逆転の発想で制度化され、今や市民活動支援施策の中でも人気を誇る制度となっている。

とかく仕事と私事を仕分けたいものだが、市民とともに事業をする仕事は、カウンター越しの関係ではなく、職員個人と市民個人のつながりも大切。心から楽しんで市民と関わり、協働事業から感動を体験できる職員を増やす、それが行政組織の力になる。そんな機会を広げたいと語った。(市野)

寄稿

「地域福祉サポートちた」
理事退任にあたって

元愛知県職員 田上光大氏

私は、本年6月に77歳(喜寿)を迎えるのを機に、「地域福祉サポートちた」の理事を退任することとし、ご了承を得た。理事を辞める理由の第一は、高齢になって判断力などが鈍くなり、論議をすることが難しくなってきたこと、理由の第二は、これまで50年ほど住み慣れた名古屋を離れて浜松へ移住し、知多半島へお邪魔することが従来のようにできなくなったこと(車の運転ができないので、電車とバスに乗って大府か金山経由で出かける必要があり、時間も経費もかなりかかること)である。浜松は、家内の出身地で隣家に義兄夫婦がおり、総合病院も近くにある三方原台地の一角で、老後の心配はほとんどない。毎朝、(雨さえ降っていないければ)犬を連れて裏山から泉、茶畑を散歩してくる30分が日課になっているが、足腰を鍛えながら、のんびり過ごしている。これから夏にはホテルが舞うので、楽しみである。

しかし、知多地域は、愛知県庁に勤めていたので何度も参上したことがあり、多くの知人もできて、なんとも懐かしいところである。従って、理事を退任しても、時々参上し、(特に「絆」や「りんりん」にはピアノがあるので)子どもの頃習ったピアノで伴奏をしたりしながらお年寄りの皆さん方と昔の童謡や歌などを歌ったりするのを、これまで楽しみにしてきた。これからは、機会があれば参上して、楽しい時を持ちたいと願っている。

昨今は、立派な施設もいろいろでき、市町を始め行政側もNPOなどの活動について、かなり理解を深め、協力してくれるようになったことは、ご同慶の至りである。サポートちたの理事さん方は、ほとんどグループの長で、ご苦勞が多かったことを承知しているが、全てのグループに参上できなかったことは心残りがある。これから何度知多に参上できるか判らないが、皆様方のご健闘を心から祈っている。

どうもありがとうございました。

NPO法人介護サービスさくら 村居多美子氏

想い起こせば、さくらは任意団体の頃からの関わりで、ここまでやって来れたのも元理事長の松下さんが先頭に立ち、今からのNPO団体は「何も分かりません・出来ません」では困る。トップリーダーとしてどうあるべきか！事務局長はリーダーをどう支えるべきかを

梶山女学園大学の武長教授始め、多くの先生方に学び、NPOの先進国アメリカや高福祉高負担のスウェーデン・高齢者住宅のオランダ等々その時代に合った学びをさせてもらいました。お陰で今日の「介護サービスさくら」があると思っております。それを支えて下さった岡本さん始め今のスタッフの皆さまにも感謝しております。

新しい地域福祉サポートちたに期待しております。今後私に出来る事が有れば、いつでも協力させていただきます。本当にお世話になりました。

■口東日本大震災募金報告口■

昨年、北茨城・いわきの復興支援に募金のご協力を！との呼び掛けに、皆さまからの善意211,000円を募金した『ホープ常磐プロジェクト』事務局、認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズよりその感謝も込め、この1年間の活動報告が以下のようにあった。

募金総額 11,117,705円

支出総額 11,128,099円(事務局経費は含まず)

支出内訳は、支援要請物品の購入や、被災者を支える活動や団体に活動資金提供、ボランティア・バスの運行費や、現地ニーズ把握のための拠点の車両や経費に充て、当面は、茨城に3千人以上避難されている福島の方々の支援活動を継続する。

今後は「いばらき未来基金」(仮称)を立ち上げ、寄付循環の仕組みに取り組み、課題解決に取り組み人が信頼、共感でつながり、安心して住みやすく活力のある地域づくりを目指す。

会費納入のお願い

(N)地域福祉サポートちたにご支援、ご協力頂きありがとうございます。24年度も引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。なお、振込用紙を同封させていただきますので、ご利用ください。

○正会員／(団体) 15,000円 (個人) 5,000円

○準会員／(団体) 5,000円 (個人) 3,000円

∴*・☆.. *° .☆:* .*:°° .. ☆.. *° ☆:*∴∴

新会員紹介 ☆ご入会ありがとうございます☆

【正会員/法人】NPO法人Smiley Dream 様

☆*∴∴∴*☆.. *° .☆:*∴∴*☆° ∴∴° .. ☆

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■コミュニティスポーツ推進助成プログラム

<募集期間>5月1日(火)～5月15日(火)当日必着
<内容>コミュニティスポーツによる健やかなひと・社会づくりに向けた調査・研究助成および実践助成
<応募要項、応募用紙、詳細><http://www.sumitomolife.co.jp/csr/kouken/kenkou/sport2012.html>
<問合せ>(公財)住友生命健康財団「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」係(担当:永野、杉本)
☎ 06-6947-3140 fax06-6947-3142

■まちづくり人応援助成金

<募集期間>4月1日(日)～5月10日(木)当日必着
<募集項目>○商店街の活性化活動 ○地域交流の活性化活動 ○伝統文化の保全活動
<応募要項、詳細><http://www.machi-f.or.jp/entry/>
<問合せ>(財)まちづくり市民財団 事務局
☎ 03-3234-2607 fax03-3234-5770

■成年後見サポーター研修講座<前期>

<日時>6/15～7/20 13:30～16:30(毎週金曜日)
<場所>東浦町勤労福祉会館
<受講料>1,000円(全6回分資料代)
<定員>30名(5/10から電話受付開始、先着順)
<問合せ>(N)知多地域成年後見センター知多後見事務所
☎ 0562-39-2663

■共育ネットはんだの体験講座 <参加者募集>

<場所>共育ふぁ～む(新見南吉記念館北 矢勝川沿い)
<問合せ>(N)共育ネットはんだ(水野)090-8079-8809
【親子 de 農園デビュー! 2012】(定員 10組)
<期間>2012年5月～11月(*8月休)
<日時>毎月第2日曜日 10:30～13:00
<参加費>親子1組全6回分6,000円*1人増3,000円
【ハーブ園 de リフレッシュ♪～ミントの会～】(定員 10人)
<期間>2012年5月～12月(*8月休)
<日時>毎月第3水曜日 10:00～12:00
<参加費>全7回分前納7,000円 保険代含め経費一式

■ぶち婚活～女性を惹きつけるオトコになる!～

<内容>男性を対象に女性の心理について勉強します。
<日時>5月27日(日) 13:00～14:30
<場所>コミュニティスペースあみーご(半田市乙川栄町1)
<参加費>1,500円 <定員>12名
<問合せ>(N)ぱれっと <http://05.xmbs.jp/konkatsu/>

■だいごんの花 訪問ヘルパー募集

<募集要項>明るくて元気な方! 普通運転免許取得者・ヘルパー2級取得者(未経験も可)<勤務>週3日以上
<内容>高齢者の身の回りの支援・食事作り、洗濯、掃除、買い物、食事介助、トイレ介助、入浴介助、通院付添、その他 ※面接は電話連絡後決定致します。
<問合せ>(N)だいごんの花 ☎ 0562-54-1025(荒木・小松)

《サポートちた事業予定》

■コアアクティブ会話術講座 (担当 江ノ上)

<内容>世界的なコーチング機関CTIのコアアクティブコーチングを基に開発されたプログラムを、プロコーチより会話のコツを実際に話をしながらコツを覚えていく体験実習。
<日時>6月10日(日) 13:30～17:00
<場所>知多市市民活動センター(きらゆめとの共催)
<参加費>3,500円 <定員>24名

■行動援護講座 (担当 五十嵐)

一宮会場(一宮療育サポートプラザ多目的スペース)
<日時>6/3、6/17、6/24 9:30～17:30
豊川会場(とよかわボランティア市民活動センタープリオ)
<日時>6/30、7/1、7/15 10:15～18:15

■ホームヘルパー2級養成研修講座 (担当 竹内)

半田 土日コース
<日時>5/12～9/8(土日)9:30～16:30
<会場>NPO法人りんりん、第2瑞光の里 他
半田 平日コース
<日時>7/20～10/26(月水金)9:30～16:30
<会場>雁宿ホール、知多市市民活動センター

※※詳細は各事業担当までお問い合わせください※※

NPO現場見学バスツアー



～未来のNPO担い手養成研修～
制度や社会の成り立ち、マナー等あなたの新しいスタートを応援します!
5/15(火)、6/21(木)
内容:マナー講座+NPO現場2か所
参加費:5,000円 (担当:江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743